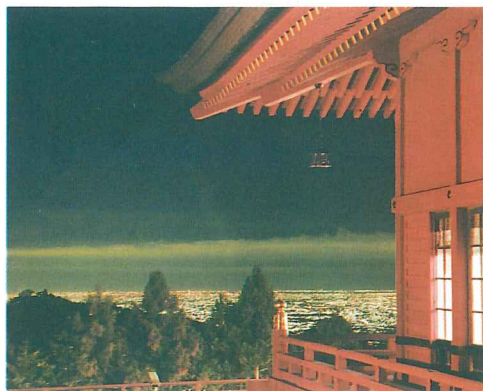


まつり

社頭では毎日まつりが執り行われている。毎朝の日供祭、当社では毎月八日の月次祭、日の出祭に春秋の大祭、元旦祭、太占祭、流鏝馬祭等々。恒例祭と呼ばれるこうしたまつりは、毎年変わることもなく古くより行われ、その規模は様々であるが、一つ一つがとても重要な儀式である。先代、先々代、いつまで遡れるのかはつきりしないが、同じ日時に、同じ神饌を捧げ、同じ祝詞を奏上する。奉仕する者は変わっても、毎日、毎月、



毎年繰り返され、さらに次の世代へと受け継がれてゆく。

まつりは、神と人々との接点であり、より身近に神を感じるひとときである。神前で心静かに参列していると、何とも心温まり、落ち着き、安らぎを感じることが出来る。永年続けられた儀式には、日本人の心にうったえるものがあり、生きる活力を与えてくれる。講中の参拝祈願や太々神楽、一般崇敬者の祈願もまつりの一つで、やはり毎日のように奏上される。こうした祈願が最も多いのは、な

んといっても正月。この時期は大気が澄み、晴れていけば社頭から関東平野が一望できる。大晦日から新年、満天の星空と、夜景。やがて東の空が白み、ご来光。そして朝日が東京湾を照らし、キラキラ浮かび上がる。そんな光景を眺めながらの初詣は、寒さと、三段を越える石段を登った疲れを忘れさせてくれる。さらに昇殿してのご祈願はとても清々しく、年の初めにふさわしい。常に御嶽の大神様に見守られ、安心して暮らしていけるように思われる。



どのおまつりも一般のご参拝が可能です。社務所までお問い合わせください。

御岳山の行事

十月	十二日	新神楽
十一月	十三日	秋分祭
十一月	十五日	末社祭
十二月	八日	みたけ山山岳マラソン
十二月	二十三日	天長祭
一月	三十一日	大祓
一月	一日	元旦祭
二月	三日	太占祭
二月	二日	大口真神社祭
三月	二日	稲荷社祭
三月	三日	節分祭
三月	十一日	紀元祭
三月	八日	春季祭
三月	二十日	御岳山文化講座
三月	二十日	奉納俳句奉告祭
四月	下旬	産安社祭
四月	下旬	奉納剣道大会
五月	二十九日	日の出祭(例祭)
五月	八日	仏法僧と探鳥のつどい
六月	十五日	男具那社祭
六月	十五日	大口真神社祭
六月	十五日	神楽と雅楽の一般公開
九月	三十日	夏越大祓
九月	六日	カンタンを聴く会
九月	中旬	御岳山文化講座
九月	十五日	神楽と雅楽の一般公開
九月	二十九日	流鏝馬祭
九月	二十九日	大口真神社祭
毎月	八日	月次祭
毎月	毎日	日供祭

能面奉納



昨年引きつづき二月二十六日能面作家の小倉宗衛氏より「延命冠者」と「父尉」の二打が奉納され黒田宮司を齋主のもと奉納奉告祭が執り行われた。これで小倉宗衛氏の作品「翁」四面がそろい、御嶽神社宝物殿にて平安鎌倉時代のおもかげを残している能面の造型美と日本の伝統文化に触れることができる。

ヘリコプター緊急離発着場の完成

八月二十八日神社下の長尾平に完成し、消防総監をはじめ多数の賓客のもと竣工祭が執り行われ、引き続き地元消防団との連携訓練が行われた。なお同時に、非常放送設備も完成し、山上の救急等に大いに役立つものと期待される。



峰中修行



九月二十一日、二十二日に一泊二日で第六回峰中修行を行った。

「禊と礼法」など、一般の方々を対象に体験していただき、自然と接し心身をみがき、自分自身を見つめ直し、これからの生き方などにお役だていただきました。年回数回行ってまいります。次回は十五年の三月に予定。